



(平成23年3月31日現在)

信金中央金庫(信金中金)は、全国の信用金庫を会員とする協同組織形態の金融機関で、信用金庫の中央金融機関として昭和25年に設立されました。

信金中金は、「個別金融機関」と「信用金庫のセントラルバンク」という2つの役割を併せ持つ金融機関であり、平成23年3月末現在の資金量は、信用金庫から預けられた資金と金融債を発行して調達した資金等を合わせて25兆9,217億円にのぼっています。信金中金は、わが国有数の規模を有する金融機関であり、数少ない金融債発行機関でもあります。

— 信用金庫のセントラルバンク —

信金中央金庫
Shinkin Central Bank

SCB

資金量	単体自己資本比率	31.78% (国内基準)
約25兆円	格付け	AA (日本格付研究所)



しんきんネットワーク

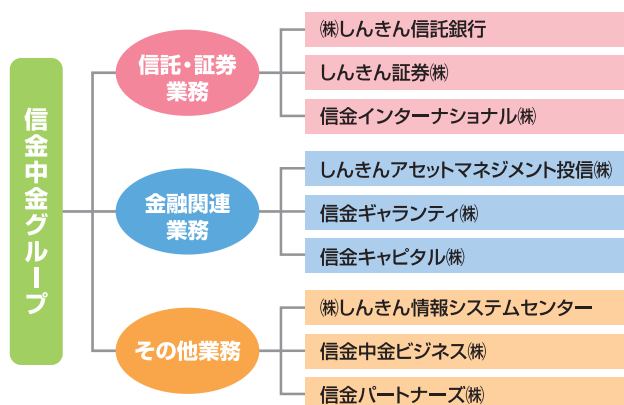
個別金融機関としての役割

- 機関投資家としての役割
30兆円にのぼる巨大な運用資産
- 総合金融サービス提供機関としての役割
信金中金グループとして総合的な金融サービスを提供
- 地域金融機関としての役割
地公体向け融資・PFI・代理貸付など

信用金庫のセントラルバンクとしての役割

- 信用金庫の余裕資金の効率運用
- 信用金庫の業務機能の補完
融資業務・市場関連業務・決済業務・国際業務・付随業務・信用金庫取引先の経営改善支援等
- 信用金庫業界の信用力の維持・向上
経営相談、ALM・リスク管理支援、情報提供等

総合力で地域金融をバックアップ



邦銀トップクラスの格付

格付機関	長期格付
ムーディーズ(Moody's)	Aa3
スタンダード&プアーズ(S&P)	A+
格付投資情報センター(R&I)	A+
日本格付研究所(JCR)	AA

(平成23年3月末日現在)